

め、夏休みを迎える前に学校長の協力で具体的に実施するように訴え、理解を得ました。

平田 昌隆 議員

今定例会（第2回）においては、主に一般会計の補正予算についての議案が多くあり、昨今のコロナ対策における特別給付金を含む事業費関連が多くを占めました。議案については、真摯な討議を得て可決されました。また、一般質問においては、コロナ関連を含め通学路の安全対策等多岐にわたり白熱した議論がされ有意義な議会となりました。今後も、安心・安全な田原本町の構築を目指し、活動してまいります。

藤井 誠人 議員

ボランティア活動の推進について一般質問。多くのボランティアの方により町民の暮らしが支えられていますが、コロナ禍等により活動の存続が困難な事から、町に求める支援として、活動場所の確保などについて質しました。行政が行き届かない所を支援する方々が活動しやすい様に、場所の提供としてボランティアの許可。利用場所の予約では前倒しで優遇できないか提案し、具体的検討と答弁。町民へのボランティア団体紹介が不十分と質し、今後あら

ゆる媒体で周知と答弁。早速、聴覚障害を持つ方への要約筆記者派遣制度について町HPに掲載されました。

梶木 裕文 議員

議会改革特別委員会では、コロナの経験を生かし、今後このような事が起こっても議会が機能する準備の必要性「議論の場の確保」ができる取り組みを積極的に進めている議会、また町政に関心を持ってもらう為、定例会案内チラシを電車の中づり広告風にデザインして配布している議会等、議会改革を積極的に進めている先進地の取り組みを紹介。再配置検討特別委員会では、今年度の計画である構想の段階での徹底した議論の必要性、また担当課だけではなく新たなプロジェクトチームを立ち上げて取り組みを求めました。

村上 清司 議員

新型コロナウイルスの感染が減少傾向ではありますが、東欧におけるウクライナ情勢の変化から3ヵ月以上が過ぎている中で、原油や穀物価格の上昇により、本町においても物価の高騰の影響が感じられ、子育て世代や生活困窮者の生活に影響が出ています。その中で、小中学校の児童生徒の給食費2ヵ月免除、コロナ濃厚接触等による児童生

徒の給食費、保育園児の保育料の免除等、国の支援策とは別に、本町独自のきめ細やかな支援策等を含め、補正予算による支援強化に努められました。今後も、町民が安心して暮らせる街づくりを努めていきたいと思います。

安田 喜代一 議員

浸水常襲地域の解消に向けた県の平成緊急内水対策事業で、社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設に続き整備を進めている、阪手地内の雨水貯留施設の整備工事請負契約について委員会で審査しました。十二川の水位上昇に合わせて自動に貯留（8400m）する施設となる予定です。先に完成した社協駐車場の貯留施設は地下貯留ですが、本施設はオープン貯留池で深さが4mあることから安全対策について訴え、フェンスの設置について配慮をお願いしました。内水被害の解消につながるものと賛成し可決されました。

古立 憲昭 議員

国の「地方創生臨時交付金」の活用について、本町の対応案が議会に提出。特に生活支援は学校給食の負担軽減（食材高騰費、出席できない児童生徒の給食費の免除、さらに2ヵ月分の免除）。生活困窮者に対

する特別給付金の対象拡大。子育て世帯生活支援特別給付金の給付額の上乗せ。水道料金のうち基本料金2ヵ月分免除など提案されており賛成をしました。小中学校施設再配置検討特別委員会では、東・北・田原本小学校3校の統合を進めており、教育環境が今以上に良くなること、地域や保護者の理解が得られるよう取り組んでまいります。

西川 六男 議員

森町長在任7年間の人事異動で、組織改編等を含め7回異動した職員が5人、6回5人、5回19人、4回42人。今回1年の勤務で別の部署に異動した職員が5人、2年で異動が7人でした。頻繁な異動の職員は能力を充分発揮できたのか、また11課で係長以上の同時異動があり、職務の混迷や住民サービスに支障はないのか、質問しました。令和3年度の休職者は13人、その内、精神的不調が12人（令和2年度も12人）、早期退職者が11人。降格希望者が7年間で16人おられます。町政運営上、根源的な改善が必要ではないか、質問しました。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、9月上旬に開催予定です。

☎ 議会事務局 ☎ 34・2119

議会だより

令和4年 第2回定例会

発行 田原本町議会
編集 議会編集委員会

令和4年田原本町議会「第2回定例会」が6月1日から10日までの10日間の日程で開かれました。開会日には森町長がコロナ禍における生活支援にかかる補正予算等の議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告

賠償事故に係る損害賠償額の決定

○令和3年度田原本町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

定年延長規整備支援業務のほか16件について、総額6億2097万644円を繰り越したものを。

《承認・可決した議案》

○令和4年度田原本町一般会計補正予算（第1号）の専決処分報告（全員賛成）

補正予算額は6236万7000円の増額で、補正内容は、衛生費で新型コロナウイルス感染症の在宅療養者健康管理支援事業実施にかかる事業費。主なものは、陽性者及び濃

厚接触者の食料品等の購入費用や看護師等の雇上げの報償費。

教育費で、令和4年度の教職員の人員配置が決定したことに伴い発生する、免許外担当を解消するため及び、日本語指導や特別な支援が必要とされる児童生徒をサポートする支援員を配置するため、会計年度任用職員の報酬や職員手当等の人件費を補正するもの。

○令和4年度田原本町一般会計補正予算（第2号）の専決処分報告（全員賛成）

補正予算額は、7480万5000円の増額で、補正内容は衛生費で、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種の実施にかかる事業費。

○令和4年度田原本町一般会計補正予算（第3号）の専決処分報告（全員賛成）

補正予算額は9272万7000

円の増額で、補正内容は、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円を給付する非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給にかかる経費及び、低所得の子育て世帯に対し対象児童1人当たり5万円を支給する子育て世帯生活支援特別給付金の支給にかかる経費。

○田原本町税条例の一部を改正する条例の専決処分報告（全員賛成）

法人住民税の見直しで申告納付に關して規定される地方税法の改正により生じる条ずれを反映するもの。固定資産税では、省エネ改修工事を行った住宅にかかる特例の拡充等を行うもの、土地にかかる負担調整措置について、令和4年度に限り、商業地等にかかる課税標準額の上昇幅を、評価額の2.5%とするもの、その他条文の整備を行うもの。

○田原本町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告（全員賛成）

土地にかかる負担調整措置について、令和4年度に限り、商業地等にかかる課税標準額の上昇幅を、評価額の2.5%とするもの、その他条文の整備を行うもの。

○田原本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告（全員賛成）

《採択とした意見書》

意見書	提出議員
保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の抜本的な処遇改善を求める意見書（賛成多数）	岡本充弘 議員

《不採択とした意見書》

意見書	提出議員
消費税インボイス制度の延期・中止を求める意見書（賛成少数）	吉田容工 議員

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等にかかる国民健康保険税の減免の規定について改正を行うもの。

○令和4年度田原本町一般会計補正予算（第4号）（全員賛成）

補正予算額は1億4805万7000円の増額で、コロナ禍における生活支援として、給付金の上乗せ及び負担金等の免除などを行うもの。

コロナ禍における生活支援にかかる補正内容は、民生費で「非課税世帯等に対する臨時特別給付金」として1世帯当たり1万円を町独自で給付するもの、及び「子育て世帯生活支援特別給付金」として対象児童1人当たり3万円を町独自で上乗せ支給するもの、並びに困窮者世帯及び子育て世帯等に対し、食料品等を支給するとともに世帯の状況確認を行

い、見守りを強化する「困窮者世帯等へのフードレスキュー見守り事業」の実施にかかる経費。

衛生費で、本町全世帯の水道料金のうち基本料金2ヵ月分の免除及びそれに伴うシステム改修にかかる費用を繰り出すもの。

教育費で、学校給食の材料購入費について、食材の物価高騰分を町で負担するもの。

また、負担の軽減を図るため、歳入補正は、新型コロナウイルス陽性者又は濃厚接触者になったことにより、保育園を休まざるを得なくなつた園児の保育料の免除、及び出席停止や学級閉鎖で給食を食することができなかった小・中学校児童生徒の給食費の免除、並びに学校給食費を2ヵ月分免除するもので、国庫支出金を増額補正するもの。

コロナ禍における生活支援以外の事業は、昨春秋以降の発電燃料である石炭及び液化天然ガス等の輸入価格の高騰に伴い、総務費、衛生費、教育費の電気料金を増額するもの。

民生費で、認知症対応型共同生活介護施設を移転する事業に対し、補助金を交付するもの。

歳入補正は、県支出金及び繰越金。○田原本町条例等の一部を改正する条例（全員賛成）
個人住民税では、上場株式等の配

町政を問う

このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

台風の季節となり、水害への備えが必要です。気象庁では本年6月から早めの避難に繋げるため「線状降水帯予測」の情報提供が開始されています。町でも水害対策に継続的に取り組んでいます。今期定例会では、浸水常襲地域の解消に向けた、阪手地内の雨水貯留施設の整備工事についての契約ほか10件の議案、意見書2件を審議し、6名の議員が一般質問を行いました。一般質問では傍聴席の皆様にもわかりやすいよう、プロジェクトによる資料投影も試験的に実施し、開かれた議会に向け取り組みを進めております。

竹邑 利文 議員

第4次総合計画について質した。今回の後期基本計画の策定に至るまでの5年間に、デジタル化の急速な進展、2050年のカーボンニュートラル実現のための脱炭素社会に向

当所得等及び分離課税所得にかかる課税を確定申告書の記載によってのみ適用する旨を規定するもの、配偶者控除等の適用を判定する際の配偶者等の合計所得金額について、配偶者等が退職手当等を有する場合、給与所得者や年金受給者が支払者へ提出する扶養親族申告書にその旨を明記することとする規定の整備及び住宅借入金等特別控除の適用期限を延長等するもの、固定資産税では、特定都市河川浸水被害対策法に規定する貯留機能保全区域として指定を受けた土地に対して課する課税標準額を、最初の3年度分、4分の3とするもの、納税証明書に記載する住所に代わるものとして登記法上の住所ではなく住所に代わる事項を記載することとする等の改正を行うもの。

○田原本町都市計画条例の一部を改正する条例（全員賛成）

特定都市河川浸水被害対策法に規定する貯留機能保全区域として指定を受けた土地に対して課する課税標準額を、最初の3年度分、4分の3とする等の改正を行うもの。

○旧県水資材置場雨水貯留施設整備工事請負契約締結について（全員賛成）

旧県水資材置場（阪手地内）において、雨水貯留施設を整備する工事を契約金額1億6885万8800

けた動きなど、社会を取り巻く環境は大きく変化しました。また、新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式への行動変容などで様々な取り組みを見直し策定。社会情勢、住民ニーズの変化をとり入れて施策の体系を見直したとの答弁を得た。

水害対策については奈良地方気象台とホットラインを構築するとともに、梅雨・台風時には情報共有しているとの答弁を得た。

吉田 容工 議員

県域水道一体化資料の基となる本町の積算根拠について質しました。令和36年度までの工事に基幹管路の耐震化工事は含まれているが、それ以外の水路工事は含まれていない。配水池の耐震化工事も建替え費用も含まれていないという答弁でした。西竹田の配水池は昭和55年4月供用開始です。耐用年数を超えて74年以上稼働させるそうです。最初は「水道事業に関する質問に回答困難」という答弁でしたが、今後も議会での議決が必要と分かってからは、「町民の皆様にはちゃんと説明する。」と態度が変わりました。

岡本 充弘 議員

本議会では3つの質問をしました。1つ目は道路改修について、12月議

円で、株式会社仲谷組（田原本町）と、工事請負契約を締結するもの。

《同意した人事案件》

○固定資産評価員の選任につき議会の同意を求めることについて
氏名 高江啓史氏
任期 令和4年6月1日から

委員会審査の状況 （質疑等から抜粋）

《総務文教委員会》

質問 令和4年度田原本町一般会計補正予算（第4号）について、新型コロナウイルスにより出席停止や学級閉鎖で給食を食することができなかった児童生徒の給食費の免除は、具体的にどのようなものか。
回答 学校からの報告に基づき、休んだ期間を全て洗い出し日割りで計算する。3月の給食費の精算時期にその分を減らし請求する予定で考えている。

質問 電気料金の値上がりについて、対策は何か考えているか。
回答 公共施設の電気代を下げるためには、電力のピーク値を抑えることが有効である。図書館のLED化のほか、全庁的に省エネ・節電に取り組むたいと考えている。

会からの進捗や大和平野中央プロジェクトと並行して安全対策を意識する意見交換ができました。2つ目はトイレについて、中央体育館の洋式化や便座消毒液の常設など質問し、中央体育館は洋式化50%を目標に進めていくと前向きな答弁を得ました。3つ目は駐車車について、昨年のオリンピックの影響もあり、スケボーが自由に楽しめる人気のがんき広場に駐車場がなく二重駐車や交通の妨げになる事から南側に数台分の駐車場を併設し、将来的には移設を検討しているとの答弁を得ました。

杉岡 雅司 議員

阪手の旧県水資材置場に第2期の雨水貯留施設（貯留量8400m³）を整備する工事が今年度始まり、令和6年度運用開始となります。本町は河川に囲まれた平坦地のため、豪雨などにより水位が上昇しやすく、支流からの流入が困難となり内水氾濫しやすい地形となっています。このため、町ではこのような内水対策を7カ所整備し、浸水被害の解消が期待されます。また、4回目の新型コロナウイルスワクチン接種が始まっており、医療関係者や職員の皆様にはお世話をおかけしますが、誤接種等が起きないよう細心の注意を払い実施していただくよう求めました。

《厚生建設委員会》

質問 令和4年度田原本町一般会計補正予算（第4号）について、新型コロナウイルスにより、保育園を休まざるを得なくなった園児の保育料免除の対象はいつからで、管外保育も対象になるか。
回答 4月から対象で、管外保育についても対象になる。あくまで本町の住民に対しての制度である。

質問 旧県水資材置場雨水貯留施設整備工事請負契約締結について、貯留量はどれくらいか。令和6年度運用開始予定であるが、もう少し工事を早められないか。
回答 貯留量は8400m³。これ以上早めるのは難しいが、ポンプ施設を整備することで、令和5年度の水期ぐらいいまでは暫定的に運用を開始したいと考えている。

町議会ホームページを ご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録など議会について情報発信しています。過去の議会だよりも見ることが出来ます。



持田 尚頭 議員

小中学校施設再配置検討特別委員会、東・北・田原本小を対象とした3校統合に向けた取り組みを進めるとの説明があり、令和9年度から授業の開始を目指すスケジュールになっています。今年度で学校施設基本構想の策定を行い、統合する場所の候補地の選定、施設の配置計画、事業手法など具体的に検討する内容となっていますが、早い時期に方向性が示される必要があります。対象の3校区で協議会を開催することになっており、地域住民及び保護者の方々への説明や意見の把握を十分に、理解を得ることが重要です。

梅谷 裕規 議員

一般質問は、本会議の場で町長等執行部に対し議員が直接対話でき会議録に残る貴重な機会です。2点質問しました。①近鉄田原本駅北側踏切の改良および田原本駅ホームのエレベーター設置（町の答弁）県道の踏切道であり、大和平野中央プロジェクトの一環として県、近鉄と連携して安全確保に取り組む②3月議会が答弁のあった特別支援教育充実の進捗―療育機関、小学校、教育委員会、福祉部局、保護者との交流、情報交換について取り組みが遅いた